

話題

ジオパーク学習センターの教育支援 多様な教材が注目を集めています

ジオパーク学習センターの多様な教材・体験学習が注目を集めています。現在、ジオパークを活かした学校教育の目的は多様化しており、これに対応した教育支援が求められています。このため、学習センターで

は、様々な教育目的に合わせて多様な教材・体験学習を準備しています。学習センターのこれらの活動が注目され、昨年は、日本ジオパーク全国大会分科会「実験を活用したジオパーク教育の手法と活用」で依頼発表したほか、県内の教育研究会で体験学習教材の作り方について依頼講演をしました。(写真：昨年秋の日本ジオパーク全国大会分科会で、ジオパーク学習センターが行っている実験例を紹介している様子)



人気

「男鹿半島で地球のダイナミズムを体感したい」 連日、全国各地から、海外からも来館

「男鹿半島・大潟ジオパークを学んで触れて地球のダイナミズムを体感したい」というみなさんが全国各地から来館しています。GWには西欧からも来館しました。来館者の目的は、「最初にジオパーク学習センターで男鹿半島・大潟ジオパークの魅力や特徴を知り、その後で興味あるジオサイトを回りたい」ということ。みなさん、大いに期待して訪れます。(写真：館内の大型画面で英語版の男鹿半島・大潟ジオパークの映像を見る海外からの来館者)



自然を楽しむ

首都圏の子どもたちが男鹿の自然を満喫

「男鹿の自然を満喫したい」と、昨年秋、首都圏の小学校が来館し、地球を知る体験学習をいろいろ楽しみ、また男鹿の自然も満喫しました。学習センターでは、男鹿半島の大地と日本列島のできかたを学んだほか、火山噴火実験、液状化現象実験、緑色凝灰岩の声を聞いてみよう、ペットボトルに青空を作ってみよう、などの体験学習を行いました。(写真：男鹿半島・寒風山の草原で段ボールを使い、どうすれば滑るかを主体的に考察しながら、そり遊びを楽しむ子どもたち)



新しい視点

「男鹿の伝統文化と地形」の研究で来館 文化人類学の視点から

昨年秋、県内外の大学の研究者のみなさんが、「男鹿半島の伝統文化と地形」の研究のため来館しました。新しい視点での研究で、今後に期待したいと思います。

★年始のお知らせ 1月4日(土)から開館します。1月5日(日)は10時からジオパーク冬休み教室開催。